

夏近し! 若葉が茂る茶処で お茶摘み娘に変身

へ夏も近づく八十八夜〜。立春から数えて88日目以降は霜が下りなくなり、季節は夏へと向かっていく。新茶シーズンの到来でもある。「お茶摘みさん」になって緑茶を味わおう。



今回の旅先は……
静岡県川根本町!



写真提供
川根本町まじくり観光協会

県央に位置。大井川に沿って南北に長く細く伸びた北側は長野県と接する。大井川源流部は本州で唯一「原生自然環境保全地域」に指定、手つかずの豊かな自然がある。温泉やキャンプ場も多くあり、アウトドアにはうってつけ。

今回のマドンナ

中野菜穂さん

川根本町出身。旅行会社勤務を経て、地元で働きたいと農業法人アグリノスに転職。町内で柚子を栽培し、緑茶に続く特産品となるべく、日夜畑で奮闘中〜!



ご当地マドンナとゆく 日本全国 ゆるり アウトドア旅

静岡県はいわずと知れたお茶処。ここ川根本町も急峻な山肌張りつくように茶畑が点々と広がっている。寒暖の差があり、日照時間も短いという当地。お茶作りには最高の条件が揃っている。とくに今年4月の寒の戻りは、昼夜の気温差が例年にならぬほど大きく、極上の新茶に仕上がっているとのこと。これはぜひともおもむいて茶摘みさせねばなるまい……。同町で柚子の栽培に勤しむ農業法人アグリノスの中野菜穂さんに「茶摘み娘」をお願いし、山香荘茶園を訪ねることにした。

川根本町には、国内でただひとつ年間を通じて蒸気機関車（SL）を運行する大井川鐵道が走っている。山間の茶畑に響く汽笛、そんな昔から変わらない風景のなかで川根茶は作られている。川根茶と並ぶさらなる特産品の柱として、柚子の栽培を手がけているのが中野さんだ。「近年はお茶農家の高齢化に伴って耕作放棄地も増えています。そうした場所を利用して、柚子やライムなどを栽培しています。お茶に並ぶ川根本町の特産品として柚子を盛り上げられれば、栽培から加工品などの商品開発事業なども行なっているんです。」なんと農業経験ゼロから転職してスタートしたという中野さん。素晴らしい郷土愛！さて、八十八夜をすこし過

たっぷりの日差しを浴びて
輝くお茶の葉を丁寧に摘む



慣れた手つきでお茶を摘む中野さん。「学校の行事なんかでも、お茶摘みがあったりしたんですよ」。さすが、お茶処の出身だ。

変身完了〜！
摘みますよ

腰にカゴを付け、お茶摘み娘の姿に。キリリと締めたあかね襷が、なんとも達しく眩しい〜！



なかなかカゴいっぱいにならない〜(笑)



「茎をつまんで」



↑先の部分にある柔らかい葉の茎をつまんで、上に引いて摘む。摘んだ茶葉は即日製茶される。



店舗に併設された製茶工場。この日摘んだ茶葉は、蒸す揉むなどの工程を経て「蒸茶」という農家ではよく飲まれるお茶の状態になる。

旅のMEMO

川根茶ひと筋数百年！

現在の園主で十代目になるとい歴史ある山香荘茶園は、昔ながらの農法でお茶を作り続けている。茶葉の栽培から加工、販売まで一貫して行なう。お茶のことならなんでもお任せだ。店舗ではすぐ頂けるお茶のテイクアウトもある。



ヤマカネ茶園
山香荘茶園
①静岡県榛原郡川根本町元藤川17
☎0547(57)2777
🕒9:30~17:00



箱入りのお茶は、皇室へ献上された同園の茶葉だ。山香荘茶園は献上茶の指定茶園となっており、野趣に富んだ「蒸茶」や、立春から88日に摘んだ「八十八夜」、手仕上げの「極上はつやまか」など、新茶が揃い踏み。



カゴいっぱいになるには、なかなかの時間がかかりそうだ。「もう少し摘みますよ！」と中野さん。

きた晴天の5月某日。絶好の茶摘み日和である。お茶摘み娘姿に扮した中野さんはとてもよく似合っていた。首から下げた黄色い手ぬぐいには、あかね色の襷。そしてなにより、熟れた茶摘みのしぐさに驚いた。

「子供のころに親戚が持つ茶畑で手伝いをしたりしていました。学校の行事や自由研究などでもするんですよ」

と、手を休めずに話しをする中野さん。さすがです！

ここでの暮らしはお茶抜きには語れないのかもしれない。川根茶の起源は定かではないが、安土桃山時代の検地帳にはすでに茶畑の記載があり、お茶で年貢を納めていた時代もあったとか。野生動物の被害がなく、高冷地でも育つお茶は人びとの生活を支えてきたのだ。

青空の下、茶摘みに黙々と精を出す中野さん。その光景はまるでタイムスリップしたかのよう。まさに目には青葉。鮮やかな一面緑の茶畑は、見ているだけで活力が湧いてくる。

手摘みした茶葉はその日のうちに製茶され、5時間半後には見覚えのあるあのお茶つ葉の状態になる。なによりスピード、鮮度が命なのだ。「お茶摘み体験」は7月上旬ごろまで実施。7月下旬ごろからは、伝統技法でもある「お茶の手揉み体験」ができる。貴重な体験を、ぜひ。

容赦ない夏の日差し、 うだるような暑さには たっぷり水分補給を！

汗ばむシーズンがやってきた！
屋外では適度な休憩と小まめな給
水を心がけたい。茶摘みの合間
にも日陰で休み、しっかりと水分補
給。こんな日は、冷た〜いお茶が
優しく喉を潤してくれる。



フタと飲み口部分は取り外して
隅々まで洗浄できる。しっかり洗っ
て乾かせるのでカビの心配もない。



フタはロックリングを下げて押せ
ばワンタッチでオープン。片手で
操作可能、すぐに口元へ運べる。



720mlの容量とは思えないスリム
設計。荷物の隙間やカバンのサイ
ドポケットなどに収納できる。

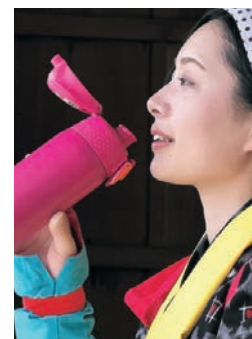


ボトルの底には安心のシリコン製
のソコカバー付き。衝撃を受けや
すい底部分を守ってくれる。



真空断熱スポーツボトル / FJH-720
6,600円

たっぷり720ml入る保冷専用ボトル。6時間
後も9度C以下に保つ高い保冷力だ。暑い日
はスポーツドリンクを入れて、汗で失われた
ミネラルも十分に補給しよう。ランニングや
屋外での作業には、つねに携帯すると安心だ。



飲み口部分は、口に運びやす
い突起形状。フタを開けて素
早く確実な水分補給が可能だ。

フタは手早くオープン！
高い保冷力でいつでも
どこでも冷たい飲み物を